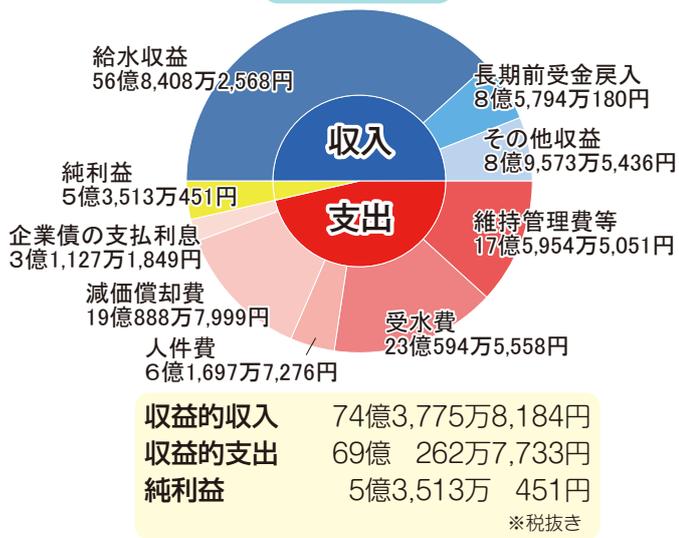
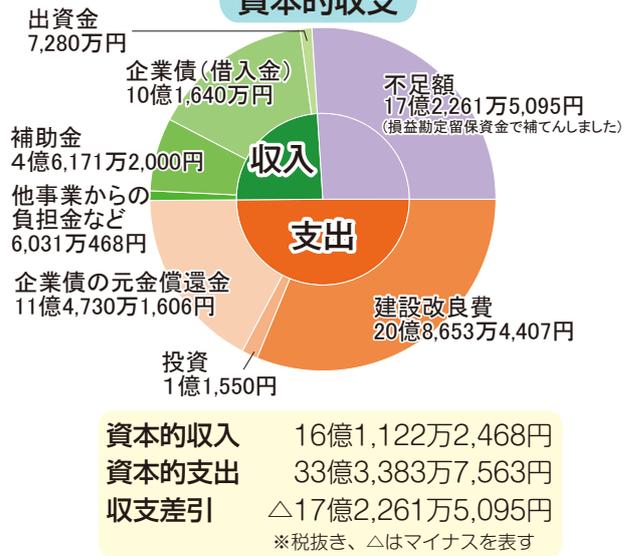


平成29年度決算をしてみよう！

収益的収支



資本的収支



収益的収支と資本的収支

- 収益的収支(グラフ左)…その年度の水道水の提供に必要な費用と、収入(主に水道料金)
- 資本的収支(グラフ右)…水道を将来にわたって維持するために必要な施設の整備や拡充などに係る費用と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)

給水人口と配水量

給水人口	27万8,359人
給水戸数	13万4,072戸
年間総配水量	4,018万358m ³
1日平均配水量	11万83m ³
1日最大配水量	12万839m ³

(平成30年3月31日現在)

上のグラフから、津市の水道事業ではたくさんのお金が使われていることが分かるね！
でも、さっき経営が厳しくなると言っていたけど、収益的収支(グラフ左)では利益が出ているよ。

平成29年度は、5億円の利益が出ているけど、過去にもらった補助金などを毎年少しずつ収益化している、実際の現金収入でない長期前受金戻入の8.5億円が含まれているから、利益が出ている訳ではないんだよ。

そうなんだね。それじゃあ、資本的収支(グラフ右)は17億円も不足しているけど、これは何から支払われているのかなあ？

将来、施設を新しくするために備えた貯金の損益勘定留保資金が60億円あって、そこから支払ったんだよ。でも、今年は収益的収支の減価償却費や長期前受金戻入などの会計上の処理を行って、10億円は戻すことができたんだよ。下の計算式を見てみて！

平成29年度は7億円貯金が減ったんだね。

そうだね。丈夫な水道を保ち続けるために、水道管や浄水場などの耐震化は、今まで以上に力を入れていくことが重要だけど、その分貯金は減っていくことになるんだ。

今回は、これから先も安定して水道水を届け続けるためにどんなことをしておかないといけないか考えてみよう！

水道局の貯金の動き

これまでの貯金 (損益勘定留保資金)	60億円	-	平成29年度の不足	17億円	+	平成29年度の貯金	10億円	=	貯金残高	53億円
-----------------------	------	---	-----------	------	---	-----------	------	---	------	------

平成29年度
に減った貯金
7億円

水道事業の運営費用は、
皆さんからの
水道料金で賄っています！

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。